

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
かつてわが国のプロスポーツは、現在のように世界的に注目を集めるまで育っていませんでした。しかし、近年日本のプロ野球選手がアメリカのメジャーリーグに移籍して活躍し、さらにJリーグなどでプレーした日本人選手がヨーロッパのプロサッカーリーグで活躍するなど、日本のプロスポーツも世界的に注目されるようになってきました。そこで、本演習では「スポーツビジネスを考える」を基本テーマとして、特にプロ野球・プロサッカーにおけるスポーツビジネスの現状と問題点を明らかにした上で、わが国における今後のプロスポーツビジネスのあり方について考察します。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークを積極的に取り入れ、ディスカッションをします。最終的には、各自が作成したレポートについて発表してもらいます。 対面授業とオンライン授業（オンデマンド型）を併用して実施します。 実施方法の詳細については、初回の授業で案内します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに本演習の目的と内容、進め方等について説明する。	☐
第2回	研究テーマの検討	各自が研究テーマを設定する。	☐
第3回	研究テーマに関する研究(1)	研究テーマに関する文献・資料・データを収集する。	☐
第4回	研究テーマに関する研究(2)	研究テーマに関する文献・資料・データを収集する。	☐
第5回	研究テーマに関する研究(3)	研究テーマに関する文献・資料・データを収集する。	☐
第6回	研究テーマに関する研究(4)	収集した文献・資料・データについて分析し、考察する。	☐
第7回	研究テーマに関する研究(5)	収集した文献・資料・データについて分析し、考察する。	☐
第8回	研究テーマに関する研究(6)	分析結果について、全メンバーで討論する。	☐
第9回	研究テーマに関する研究(7)	各自が設定した研究テーマでレポートを作成する。	☐
第10回	研究テーマに関する研究(8)	各自が設定した研究テーマでレポートを作成する。	☐
第11回	研究テーマに関する研究(9)	各自が設定した研究テーマでレポートを作成する。	☐
第12回	レポート報告(1)	各自が作成したレポートを輪番で報告し、全メンバーで討論する。	☐
第13回	レポート報告(2)	各自が作成したレポートを輪番で報告し、全メンバーで討論する。	☐
第14回	研究発表	ゼミナール交流会で研究発表をする。	☐
第15回	総括	本演習の総括をした上で、「専門演習Ⅲ」「専門演習Ⅳ」の卒業研究（卒業レポート）に関する案内をする。	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
事前学習と（予習）して、文献・資料・データ収集などの調べ学習をしておく（毎回2時間程度）。また事後学習（復習）として、前回の授業の振り返りをする（毎回2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
提出されたレポート、研究発表については、教員およびゼミ生相互で講評を行うなど、全体で共有する機会を持ちます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018地域ビジネスDP2	スポーツビジネスの現状と課題について考察し、今後のスポーツビジネスのあり方について、他者に自分の考えを説明することができるか。
	◇ 2018地域ビジネスDP3	スポーツビジネス全般に関する幅広い知識を身につけることができるか。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 各自が設定した研究テーマでレポートを作成し、研究報告をしてもらいます。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	石川幸生・杉谷正次編著『現代スポーツビジネス』三恵社	978-4-86487-014-6
2	杉谷正次・石川幸生編著『現代スポーツマネジメント』三恵社	978-4-86487-577-6
3		
4		
5		